

事業所名

Visionパレットはなまる

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

2 月

14 日

法人（事業所）理念		子ども達が安心・安全な環境で療育を行い、出来なかったことが出来るように一人一人評価を基に支援し、多くの笑顔と自信とはなまるを増やすことに笑顔で全力を注ぐ								
支援方針		作業療法士等の専門職が一人一人の評価（原始反射・感覚・ビジョン）を行い、本人や保護者様目線で困り感を含めた5項目（健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）の評価を合わせた2つの評価と、動作・行動観察や相談事項・ニーズを基に支援プログラムを組み、一人の子どもに対して毎回異なる一人の職員がついていろんな視点からのアプローチを想いに寄り添いながら行う								
営業時間			8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<睡眠（不眠・中途覚醒・夜尿など）、排泄動作、食事動作（箸・スプーン操作）や更衣動作の苦手さなどへの支援> ・作業療法士等による発達評価や原始反射評価、感覚評価に基づき、頸部、体幹、手足、目の動きなど体の土台づくりの支援を行いADL動作の機能獲得を図る ・既往・服薬による禁忌に基づいた支援や環境設定を行い、症状緩和や生活の質の向上を図る								
	運動・感覚	<姿勢崩れ、動きの拙劣さ・不器用さ、歩く・走る・動作の遅さや苦手さ、球技・鉄棒・縄跳び・遊具遊びなど運動の苦手さなどへの支援> ・個々の体の動きや感覚の評価に基づいた、原始反射や感覚の統合を図る活動や、個々の目の動きや見え方の評価に基づいた、ビジョントレーニングを入れた活動 ・発達段階に応じた体の動きを評価し、共同運動、協調運動、抗重力活動、バランス活動などの粗大運動や机上活動を用いた微細運動、姿勢保持などの活動								
	認知・行動	<衝動性・動作の性急性、感情コントロール・癇癪、自傷・他害行為、こだわり、自分優位・感情優位、先の見通し・危険予測の不足、距離感の苦手さなどへの支援> ・原始反射の残存や原始感覚の偏り、ビジョン（視覚）の偏り、聴覚・触覚の過敏や鈍麻など目には見えない部分への支援活動 ・気持ちの発散に繋がる身体活動や他者交流活動、呼吸活動やリラクゼーションなど静と動の活動、自律神経系へのアプローチ								
	言語 コミュニケーション	<言葉の表出・語彙数の少なさ、一方的・多弁、視線の合わなさ、暴言、場面緘黙、過緊張、一斉指示－理解－遂行の苦手さなどへの支援> ・個別～小集団における指示－理解－遂行ができるように環境設定（広さ・明るさ・人や物の多さなど）や、情報提示（聴覚・視覚・触覚など用いた）の仕方を変化させた取り組み ・笑顔で声をたくさん出して表情筋や声帯・舌の筋に繋がる筋収縮活動、耳からの情報処理と目からの情報処理活動、音リズムやアクションを入れた情報の入出力活動								
	人間関係 社会性	<準備・整理の苦手さ、忘れ物が多い、時間意識しない、相手の表情がよめない、集団行動、他者交流の苦手さ、不登校・不登園、読み書き・計算など学習の苦手さなどへの支援> ・自分から行動するように仕向ける環境設定、ボディーイメージ・自己イメージ・他者イメージに繋げる粗大運動、役割活動、SST、感覚統合 ・ビジョントレーニング、								
家族支援		生活環境（睡眠・生活リズム、水分補給、排泄リズム、背景因子など）の定期的な情報に基づいた相談支援や家庭でできる支援提供、居宅訪問や送迎などの家族サポート、家族も一緒に支援に入って一緒に学ぶ機会（野外活動含）をつくる					移行支援		園や学校との情報連携を図り、進級や進学に向けた意見文書などの作成	
地域支援・地域連携		保育所等訪問支援、関係機関連携会議、情報共有連携 当施設見学、実体験交流、園や学校職員との相談交流 始良市部会の参加、地域部会の参加					職員の質の向上		毎週1回以上の職員ミーティング 毎月1回の勉強・研修会、職員会議 2か月に一度の個人面談、毎年1～2回の各委員会、実施研修	
主な行事等		・野外活動 ・イベント活動 ・夏休み交流会・クリスマス交流イベント・季節・行事の飾りつけ								